

【 消費者教育調査研究事業報告 】

1 題材名

「生活の自立及び消費と環境」 エ 消費生活と生涯を見通した経済の計画

2 題材の目標

消費生活の現状と課題や消費者の権利と責任について理解させ、適切な意思決定に基づいて行動できるようにするとともに、生涯を見通した生活における経済の管理や計画について考えることができる。

3 題材設定の理由

(1) 題材観

本校では1学年で「家庭基礎」を履修している。卒業後ひとり暮らしをする生徒も多く、自立への意識を経済的な側面からも高めていく必要がある。教材作りにおいては、限られた授業時数の中で、生徒が理解しやすく効果が出やすいものを常に意識している。本時では、家計の仕組みを理解させるために、「ひとり暮らしの生活費」を題材に演習を行う。生徒の実際の生活は、生活費の管理など親に頼り切っている現状であるため、家計に関する金銭感覚が曖昧である。また、社会保障制度について、実体験を通して学ぶ機会も少ない。そこで、家計のシミュレーションができる演習シートを表計算ソフトで作り、短時間で演習できるよう工夫をした。また、グループ演習により他の生徒とお金に関する価値観を共有し、楽しみながら興味を高めるようにした。これらの工夫により、生徒が生活全般の収支をより身近なこととして捉えて、自分の消費行動を見直し、お金への関心を高めるきっかけとしたい。

(2) 生徒の実態

本校は城下町として栄えた肥沃の傍に立地した歴史と伝統を誇る進学校であり、生徒の多くが幼い頃から地域に関わる行事が多いことから、地域を愛し地域とのつながりを大切に感じている。生徒のほとんどは自宅から通学しており、生活面においてかなりの部分を家族に頼っている。物や小遣いが必要な時にお金をもらう生徒が多く、金銭管理能力を養う機会が少ない。自分が使用している携帯電話の支払料金を知らない生徒もおり、お金に対する興味・関心が薄い生徒が多いのが実態である。

(3) 指導観

大学卒業後の社会人1年生が、どれくらいの収入と支出で暮らしているのかを知り、費目ごとの経費を考えることにより、これからの生活の収入と支出を考えさせたい。家計における収支のバランスや計画性にとどまらず、将来にわたるリスクを想定して、不測の事態に備えた貯蓄や保険などの資金計画についても関心を持たせたい。また、自立に向けて、今の自分に何が足りないのかを自覚させ、これからの実生活において「お金」を意識する習慣を身につけさせたい。自分の将来を見通しながら、限られた収入を上手に分配して最大の満足が得られる金銭管理能力を養いたい。

4 題材の指導計画と評価規準

学習内容	時間	評価規準			
		関心・意欲・態度	工夫・創造	技能	知識・理解
人生設計と経済設計	1			家庭の経済生活の諸課題についての具体的な事例を収集・整理することができる。	家計と経済社会との関わりを理解している。
リスクと資金管理	1				生涯を見通した経済計画の重要性を理解している。
ひとり暮らしの生活費をシミュレーションしてみよう	2 (構)	生涯を見通した家計管理の在り方について考えようとしている。	家計について、資料を活用して考えまとめたり、発表したりしている。		消費行動における思決定の重要性を理解している。

5 本時の目標

ひとり暮らしにおける生活の収入と支出のバランスについて理解し、生涯を見通した生活における経済の管理や計画について考えることができる。

6 学習指導過程

過程	学習内容及び学習活動	指導上の留意点		評価	資料等
		教師1 (中山)	教師2 (西村)		
導入 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時までの学習活動を振り返る。 ○本時の学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活に必要なお金を思い出させ、金銭管理の大切さを確認させる。 ○自分の将来を見通しながら、収支の合う暮らし方を意識させる。 			
展開 ① (26)	<ul style="list-style-type: none"> ○生活費のシミュレーションについて説明を聞く。 ①実収入 ②実支出 非消費支出 ③実支出 消費支出 ④実支出以外の支出 	<ul style="list-style-type: none"> ○給与明細をもらうシーンから、収入に興味を持たせる。 ○食費・住居費・被服履物費は、選択カードを使い、消費スタイルを確認させる。その他の項目は、価格調査レポートを活用し考えることを確認させる。 ○任意保険カードを使い、不測の事態に備えた貯蓄や保険などの資金計画に関心を持たせる。また、奨学金返済について確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○給与明細をもらうシーンから、収入に興味を持たせる。 ○学歴別、地域別に初任給の差があることを確認させる。 ○所得税・社会保険について給与明細を活用して理解させる。 ○日本や世界の経済の動きによって、不測の事態が起きる可能性があることを理解させる。 		<ul style="list-style-type: none"> 給与明細 学習プリント 選択カード 価格調査レポート
展開 ② (20)	<ul style="list-style-type: none"> ○シートを使い、自分たちの生活を振り返りながら、それぞれの項目の費用を考える。 ①東京都勤務ひとり暮らし ②宮崎市勤務ひとり暮らし ③日南市勤務ひとり暮らし ○人生におけるリスクに対応できるか再度協議し、データを保存する。 ○悩んだ点とその理由を発表用シートと学習プリントに記述する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○選択カード・価格調査レポートを参考にしながら考えさせる。 ○各グループを巡視し、生徒の質問に答え、スムーズに進むようアドバイスする。 ○人生における不測の事態を示し、見直す項目がないか考えさせる。 ○各グループに発表用シートを配布する。 ○発表データを確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ○各グループを巡視し、生徒の質問に答え、スムーズに進むようアドバイスする。 ○スムーズに活動ができるように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯を見通した経済管理や計画について考えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 選択カード 価格調査レポート 発表用シート

展開 ③ (30)	○発表の聞き方を確認する。 ○各班2分以内で発表をする。 発表後、発表用シートを黒板に貼る。	○発表後に、自分のベストシミュレーションを選ぶことを伝え、発表の聞き方を確認する。 ○発表データを確認し、内容をスクリーンに映す。	○発表時間を計る。 スムーズに発表ができるように促す。		
展開 ④ (9)	○各班の発表を聞き、自分が思うベストシミュレーションを選び、良かった点や気づいた点を学習プリントに記述する。	○各グループを巡視し、生徒の質問に答え、スムーズに進むようアドバイスする。	○各グループを巡視し、生徒の質問に答え、スムーズに進むようアドバイスする。		
まとめ (10)	○本時を振り返り、自分が身に付けたい力について考える。 ○次時の内容を確認する。	○これから自分が身に付けたい力について考えさせ、数人に発表させる。	○スムーズに活動ができるように促す。		

7 授業実践

(1) 指導・演習の工夫

ア シミュレーションの工夫

①事前価格調査

昨年度の実践では、生活に必要なものや値段を知らない生徒が多く、演習中に悩む場面が多くあった。そこで、生活に必要な商品の価格調査と家族が家計管理において気をつけていることなどをインタビューするレポートを課題にした。事前に調査することで、演習が昨年度よりもスムーズにできた。また、家族の人が家計管理においてどのような場面で苦労しているのかも知ることができ、家計管理の大切さを実感しながら演習に臨めた。

②給与明細の利用

地歴・公民科と連携し、給与明細を利用して収支について興味を持たせる工夫をした。給与は学歴別、地域別に差があることや、所得税・社会保険について理解させ、社会経済と家庭経済のお金の繋がりを意識させることができた。また、現代社会の授業で、この部分の学習をすることで、それぞれの教科で学んだ内容が繋がり、学びの連続性が生まれ、より効果的な学習につなげることができた。

③演習シートの工夫

短時間で効率よく演習ができるよう演習シートを作成した。生徒が混乱しないようシートの項目に補足部分を作ることと、決まった金額や選択肢のある金額は選択方式で入力ができるようシートを工夫した。シミュレーションは、①実収入②非消費支出③消費支出・実支出以外の支出の順で入力し、家計におけるお金についての項目をしっかりと確認させた。また、生徒が卒業後に想定されるライフスタイルとして3つの地域パターンを作り、住居選択カードを作成して地域の実態に合わせた選択肢を作ることと限られた時間でも演習ができるようにした。選択カードは、住居以外に食費、被服履物費、任意保険費のカードも作り、将来を見通してどのような生活がしたいのかを様々な視点から考えながら演習できるようにした。

価格調査レポート		1年()組()番	氏名()
*家庭経済の授業で、ひとり暮らしの生活をシミュレーションする予定です。 *家がスムーズにできるよう、日中使用しているものの価格を事前に調査してみよう。 *空欄は自分がよく使う物を入力し、価格を調べるように。価格はおよそで大丈夫です。			
洗濯洗剤	円	携帯電話	円
家族洗剤洗剤	円	インターネット通信	円
トイレトイレットペーパー	円	洗濯機	円
ラップ	円	掃除機	円
新聞	円	新聞	円
雑誌	円	雑誌()	円
下着	円	雑誌()	円
靴下	円	靴	円
クリーニング	円	シャンプー・リンス	円
コンタクト用紙	円	洗剤石鹸フォーム	円
歯ブラシ	円	ボディーシャンプー	円
歯磨き粉	円	化粧品	円
歯粉	円	化粧品	円
歯ブラシ	円	化粧品	円
歯粉	円	化粧品	円
歯ブラシ	円	化粧品	円
歯粉	円	化粧品	円
歯ブラシ	円	化粧品	円
歯粉	円	化粧品	円
歯ブラシ	円	化粧品	円
歯粉	円	化粧品	円
歯ブラシ	円	化粧品	円
歯粉	円	化粧品	円

*家族の人に、家計管理で気をつけていることをインタビューしてみよう

インタビューした人()

(演習シートの工夫)

決まった金額や選択肢のある金額は選択方式で入力できる。また、誤った金額が入力されないよう入力制限をしている。

③食費	
④住居費	
⑤光熱水道費	
⑥家具家電用品費	8000 10000
⑦被服履物費	

【ひとり暮らしの生活費シミュレーションシート】

Microsoft Excel 使用

ひとり暮らしの生活費シミュレーション

B宮崎市 ひとり暮らし

収入		支出	
収入総額	実収入	家支出	消費支出
特別収入	経常収入	①食費	①食費
		②住居費	②住居費
		③光熱水道費	③光熱水道費
		④家具家電用品費	④家具家電用品費
		⑤被服履物費	⑤被服履物費
		⑥食費以外の支出	⑥食費以外の支出
		⑦食費以外の支出	⑦食費以外の支出
		⑧食費以外の支出	⑧食費以外の支出
		⑨食費以外の支出	⑨食費以外の支出
		⑩食費以外の支出	⑩食費以外の支出
		⑪食費以外の支出	⑪食費以外の支出
		⑫食費以外の支出	⑫食費以外の支出
		⑬食費以外の支出	⑬食費以外の支出
		⑭食費以外の支出	⑭食費以外の支出
		⑮食費以外の支出	⑮食費以外の支出
		⑯食費以外の支出	⑯食費以外の支出
		⑰食費以外の支出	⑰食費以外の支出
		⑱食費以外の支出	⑱食費以外の支出
		⑲食費以外の支出	⑲食費以外の支出
		⑳食費以外の支出	⑳食費以外の支出
		㉑食費以外の支出	㉑食費以外の支出
		㉒食費以外の支出	㉒食費以外の支出
		㉓食費以外の支出	㉓食費以外の支出
		㉔食費以外の支出	㉔食費以外の支出
		㉕食費以外の支出	㉕食費以外の支出
		㉖食費以外の支出	㉖食費以外の支出
		㉗食費以外の支出	㉗食費以外の支出
		㉘食費以外の支出	㉘食費以外の支出
		㉙食費以外の支出	㉙食費以外の支出
		㉚食費以外の支出	㉚食費以外の支出
		㉛食費以外の支出	㉛食費以外の支出
		㉜食費以外の支出	㉜食費以外の支出
		㉝食費以外の支出	㉝食費以外の支出
		㉞食費以外の支出	㉞食費以外の支出
		㉟食費以外の支出	㉟食費以外の支出
		㊱食費以外の支出	㊱食費以外の支出
		㊲食費以外の支出	㊲食費以外の支出
		㊳食費以外の支出	㊳食費以外の支出
		㊴食費以外の支出	㊴食費以外の支出
		㊵食費以外の支出	㊵食費以外の支出
		㊶食費以外の支出	㊶食費以外の支出
		㊷食費以外の支出	㊷食費以外の支出
		㊸食費以外の支出	㊸食費以外の支出
		㊹食費以外の支出	㊹食費以外の支出
		㊺食費以外の支出	㊺食費以外の支出
		㊻食費以外の支出	㊻食費以外の支出
		㊼食費以外の支出	㊼食費以外の支出
		㊽食費以外の支出	㊽食費以外の支出
		㊾食費以外の支出	㊾食費以外の支出
		㊿食費以外の支出	㊿食費以外の支出
		合計 A	0
		合計 B	0
		合計 C	0
		合計 D	0
		A-B-C-D	0

補足説明を入れ、短時間で演習がスムーズに行くように工夫

収支の差を自動計算

(選択カードの活用)

<p>食費選択カード</p> <p>①タイプ 自炊・惣菜 (毎日の食材を揃えて3食を自分で作るタイプ)</p> <p>朝 コレム・お好み-惣菜 昼 弁当 夜 ミニ-ライス-サラダ</p> <p>1日 (500円~700円) x30日=15,000~21,000円</p> <p>②タイプ 自炊・中食 (毎日の食材を揃えて2食を自分で作るタイプ)</p> <p>朝 コレム・お好み-惣菜 昼 弁当 (中食) 夜 ミニ-ライス-サラダ</p> <p>1日 (800円~1000円) x30日=24,000~30,000円</p> <p>③タイプ 中食 (自分で作る3食中中食タイプ)</p> <p>朝 お好み (中食) インスタントお好み 昼 お弁当 (中食) 夜 お好み-お弁当 (中食)</p> <p>1日 (1100円~1300円) x30日=33,000~39,000円</p> <p>④タイプ 中食・外食 (自分で作る3食中中食・外食タイプ)</p> <p>朝 お好み (中食) インスタントお好み 昼 中食 (中食) 夜 外食 (中食)</p> <p>1日 (1400円~1600円) x30日=42,000~48,000円</p>	<p>被服履物選択カード</p> <p>①タイプ 流行りのスタイル・ブランドにこだわった購入</p> <p>Tシャツ 2000~3000円 セーター 2000~10000円 ズボン 2000~10000円 スカート 5000~18000円 (目安)</p> <p>5,000~20,000円</p> <p>②タイプ 海外通販で、とにかく安く買いたい</p> <p>Tシャツ 800~1000円 セーター 1000~2000円 ズボン 1000~3000円 スカート 1000~2000円 (目安)</p> <p>1,000~3,000円</p> <p>③タイプ リメイク・リサイクル品を活用して購入</p> <p>Tシャツ 100~200円 セーター 200~400円 ズボン 300~1000円 (目安)</p> <p>500~2,000円</p>	<p>任意保険選択カード</p> <p>①任意保険なし (自分の車の損傷を補償しないタイプ)</p> <p>対人任意保険 無償 対物任意保険 無償 人身傷害保険 3000万円 車両保険 無し</p> <p>1年契約 62,180円</p> <p>1ヵ月 5,180円</p> <p>②任意保険あり (自分の車の損傷も補償するタイプ)</p> <p>対人任意保険 無償 対物任意保険 無償 人身傷害保険 3,000万円 車両保険 150万円</p> <p>1年契約 117,800円</p> <p>1ヵ月 9,800円</p> <p>③任意保険あり (自分の車の損傷も補償するタイプ)</p> <p>対人任意保険 無償 対物任意保険 無償 人身傷害保険 3,000万円 車両保険 150万円</p> <p>1年契約 117,800円</p> <p>1ヵ月 9,800円</p> <p>④任意保険あり (自分の車の損傷も補償するタイプ)</p> <p>対人任意保険 無償 対物任意保険 無償 人身傷害保険 3,000万円 車両保険 150万円</p> <p>1年契約 117,800円</p> <p>1ヵ月 9,800円</p> <p>⑤任意保険あり (自分の車の損傷も補償するタイプ)</p> <p>対人任意保険 無償 対物任意保険 無償 人身傷害保険 3,000万円 車両保険 150万円</p> <p>1年契約 117,800円</p> <p>1ヵ月 9,800円</p> <p>⑥任意保険あり (自分の車の損傷も補償するタイプ)</p> <p>対人任意保険 無償 対物任意保険 無償 人身傷害保険 3,000万円 車両保険 150万円</p> <p>1年契約 117,800円</p> <p>1ヵ月 9,800円</p>
---	--	---

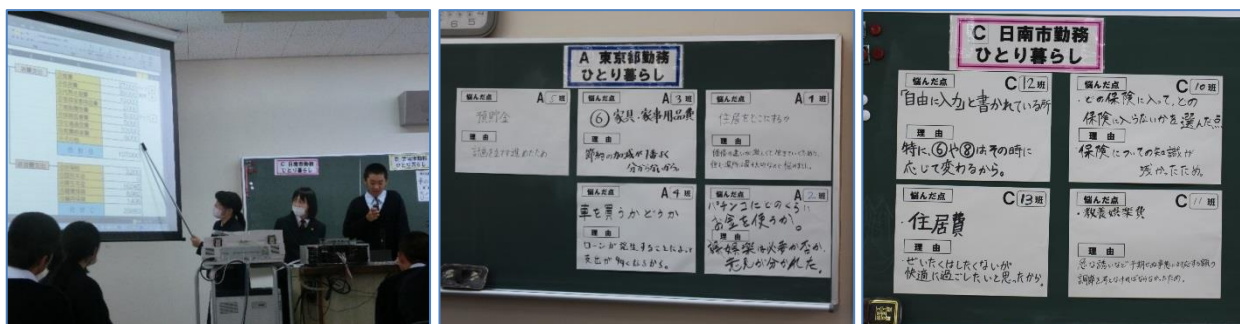
イ 演習の工夫

3人程度のグループを作り、3つの地域パターンの1つを担当させ シミュレーション演習を行った。グループ内でも生活の価値観からおもむきをおきたい項目が違い、それぞれの生活スタイルの違いを実感していた。グループ内で出た項目の金額差について意見を出し合い、決められた金額の中でやりくりをするために何を優先すべきなのかを議論をしていた。グループ演習をすることで、他の生徒とお金に関する価値観を共有し、より楽しみながら、生活に必要なお金について興味を持てるようにした。また、地歴公民科との連携で、日本や世界の経済の動きによって、不測の事態が起きる可能性があることを理解させ、リスク管理についても考えさせ、現在と将来に渡って必要なお金のバランスについて考えさせた。協議後、悩んだ点とその理由を発表用シートに書かせ、2分以内で発表ができるようにまとめた。



(2) 発表の工夫

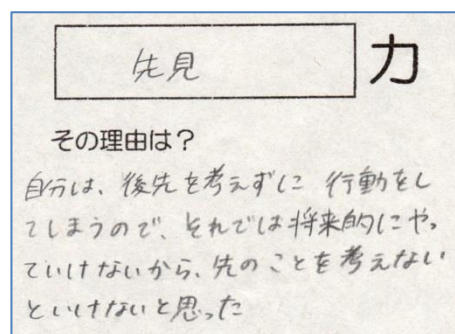
シミュレーションで悩んだことや工夫したこと、こだわった部分について全班発表をした。生徒は悩んだ点について話し、生活の中で大切にしたい部分や、今の生活が親に頼りきりであることに気づかされた等の発表をした。また、リスク管理を考え保険や預貯金に目を向けると、金銭的に余裕のある生活が厳しくなるので、バランスの調整に迷ったなど様々な意見が出された。



各班の意見と各グループの発表を聞き、改めて気づいた点を学習プリントに記述させた。最後に本時を振り返り、自分が大学を卒業するまでに身に付けたい力を「〇〇力」という言葉で表現させ、その理由を書かせ、数名の生徒に発表させた。

その他の「〇〇力」

- ・自立力 ・判断力 ・経済力 ・計画力
- ・生活力 ・適応力 ・自己管理能力 ・学力 など



(3) 生徒の感想 (学習プリントから抜粋)

- ・急な出費や思わぬ事故など人生は自分の想定内では生きていけないので、それに対応できる判断力が必要だと感じた。余裕のある生活ができるようにしたい。
- ・今は消耗品などを家族みんなで使うので、一人暮らしをする時にどのくらい消費するかわからなかった。今回考えてみて、いろいろな種類の出費があることがわかった。また、男性と女性でも出費の違いが大きいことにも気づいた。
- ・どこで暮らすにしても、お金のやりくりが大変だと感じた。節約できるところはしっかり節約し、限られたお金を有効に使えるようにしたいと思った。
- ・卒業するまでに自分の力でいろいろなことができるようになりたい。

8 成果 (○) と今後の課題 (●)

- 家計の仕組みを理解させ、演習を通して家計管理の重要性を理解させる点では、シミュレーション演習シートは効果が高かった。また、選択カードを使って選択方式にすることで入力が簡潔になり、生徒が自分の生活として理解しやすいようだった。また、グループで演習することで、お金に対する様々な考え方があることや、他の生徒の暮らしぶりから自分の自立度を認識できた。
- 地歴・公民科と連携することで、家庭経済だけでなく社会経済にも目を向けることができ、広い視野で家計管理を考えることができたのは成果として大きかった。昨年度のシミュレーション結果と比較すると、任意保険などリスク管理にお金を配分するグループが増えた。現在だけでなく、将来を見通した設計が大切であることに気づいた生徒が多かった。
- この授業を通して、生徒は親に頼り切って生活をし、自立できていない自分に気づくことができた。そして、これからの生活の中で何を意識して生活する必要があるのかを考えられたことは成果としてあげられる。生活の中でお金を意識することで、家族とのコミュニケーションも増え、親への感謝の気持ちが自然と持てるようになったのはとてもよかった。
- 「家庭基礎」は授業時間が少なく、効率よく生徒が理解しやすい授業の工夫がとても大切である。そのためにも他教科との連携は重要で、年間計画を見直し、もっと多くの分野での連携が必要である。